

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3970101329
法人名	株式会社 アイ・エム・シー
事業所名	グループホーム くろしお札幌ハウス
訪問調査日	平成20年12月4日
評価確定日	平成21年2月19日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3970101329		
法人名	株式会社 アイ・エム・シー		
事業所名	グループホーム くろしお札幌ハウス		
所在地 (電話番号)	高知市札幌14番3号 (電話)088-880-3360		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年12月4日	評価確定日	平成21年2月19日

【情報提供票より】(平成20年11月15日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成15年8月1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	27 人	常勤22(内兼務12)人、非常勤5人、常勤換算21.6人	

(2)建物概要

建物形態	併設 <input checked="" type="radio"/> 単独 <input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/> 新築 <input type="radio"/> 改築	
建物構造	鉄骨造り			
	3 階建ての	1 階 ~	3 階部分	

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	69,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有(円)	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,300 円			

(4)利用者の概要(11月15日現在)

利用者人数	27 名	男性	5 名	女性	22 名
要介護1	6 名	要介護2	7 名		
要介護3	9 名	要介護4	5 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.6 歳	最低	71 歳	最高	97 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	海里マリン病院 たけさき歯科医院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

清潔感のある、ゆったりした造りの建物である。車椅子利用者が多いユニットもあるが、利用者の表情は穏やかで、安心して暮らしている。管理者が交代して間もないが、管理者と職員が一体となり、利用者の趣味や信条を大切に、これまでの生活を継続し、その人らしく暮らせるケアを実践していることが窺われる事業所である。当該地域は町内会が未組織であり、地域との連携が取りにくい面があるが、事業所の交流室を活用して接点を持つ努力を行うなど、地域との交流を積極的に行っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 防災訓練、職員の異動など事業所単独では改善が困難な課題や、市との連携、運営推進会議のあり方など現在も継続して取り組んでいる課題もあるが、改善課題について改善シートを作成し、出来る項目から取り組んでいる。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) フロア長が職員の意見を聞き、施設長と共にまとめ、全員で自己評価に取り組むことにより、改善点や必要なケアを見出し、今後のサービスの質の向上に役立っている。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議では、交流室を利用した喫茶の開催(老人会の参加)、事業所がボランティアで実施する地域清掃など、事業所が地域への発信源となる取り組みについて報告することが多い。参加メンバーに民生委員が加わり、地域との連携に取り組む意欲は窺えるが、双方向的な会には至っていない。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 事業所の行事に家族の参加を呼びかける程度で、家族会としての活動は最近行っていない。苦情はあまり出ていないとのことだが、些細な事でも事業所に対する意見として前向きに受け止め、サービスの質の向上に努めるとともに、家族の意見や要望が出しやすい仕組みを作ることが望まれる。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 転勤者が多く、町内会が未組織の地域であるが、事業所の交流室を地域に開放し、月1回の喫茶開催で老人会の方と接点を持ち、近隣の子供達の訪問を受け、事業所周辺の清掃活動を実施し、駐車場を利用してボランティアの人達と一緒に秋祭りを開催するなど、地域との連携を積極的に図っている。今後、入居者対象に行っている「いきいき百歳体操」に地域住民の参加を呼びかけるなど、更に地域に根付いた事業所になるような取り組みを期待したい。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 その人らしく暮らせるように支援し、地域との交流を大切にするという理念はあるが、法人組織の各事業所共通の理念であり、事業所独自の理念になっていない。	○	平成18年の制度改正により、グループホームの基本方針は「家庭的な環境と地域住民との交流の下で」と言う表現に改められ、地域との関係性が求められるようになった。このことを踏まえ、地域密着型サービスとしての事業所独自の理念を作り上げることが求められる。
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 月1回の職員会で話し合いの機会を持つとともに、日々のサービス提供場面で、理念に沿ったケアが行われているか折にふれ確認し、意識づけしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面（言葉かけ、態度、記録等）において、理念が反映されている。 食事やその他の支援の場面で、その人らしさを大切にされたケアを心掛けている様子が窺える。		
2. 地域との支えあい					
	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 町内会が組織されていないので、加入していない。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 事業所の交流ホールを地域に開放し、月1回の喫茶開催で老人会の方と接点を持ち、近隣の子供達の訪問を受け入れるなど、地域との交流を積極的に図っている。また、事業所周辺の清掃活動も実施している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 フロア長が職員の意見を聞き、施設長と共にまとめ、全員で自己評価に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 評価で見出された課題について改善計画を立て、出来るところから順次取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>事業所からの報告が多く、双方向的な会議にはなっていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>会議で報告し、改善に向けた取り組みを行っている。</p>	○	<p>転勤者が多く、町内会もなく、地域との連携が取りにくい環境であるが、運営推進会議のメンバーである民生委員や包括支援センターの職員から地域の情報を得るなどして、双方向的な会議になるよう配慮することを期待したい。</p>
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>運営推進会議以外の交流は少ない。</p>	○	<p>事業所で行う行事に参加してもらうよう、市に案内は出しているようだが、事業所から市に出向き、事業所の報告をしたり、相談を持ちかけるなど、積極的な働きかけを期待したい。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>それぞれの家族が来訪する回数にはばらつきがあるが、平均月2～3回の来訪があるので、その時に声をかけ、近況等を話し合っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>フロア通信に担当ごとの個別の手紙や写真を添え、利用者の事業所での暮らしぶりを伝えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>金銭出納帳を明示し、確認の印をもらっている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p><input type="checkbox"/>家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。</p> <p>事業所の行事に家族の参加を呼びかけているが、家族会としての活動は最近行っていない。</p> <p><input type="checkbox"/>苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。</p> <p>苦情処理の記録がなく、要望、苦情を取り上げる体制が整っていない。</p>	○	<p>苦情はあまりないとのことだが、家族はお世話になっているという遠慮からなかなか本音が言い難いものである。どんな些細な要望でも事業所に対する意見として前向きに検討し、記録に残し、今後のサービスの質の向上に繋げること、及び、家族が意見や要望を出しやすい仕組みを作るためにも家族会活動を再開することを期待したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。</p> <p>法人の方針で年2回の異動があるため、職員の異動が多く、馴染みの職員が継続的に支援する体制とは言い難い。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。</p> <p>管理者交替に1カ月、フロア長交替に2週間程度の期間を取り、スムーズに移行できるように配慮している。</p>	○	<p>法人の方針もあるだろうが、利用者と職員が馴染みの関係を築き、継続的な支援が可能になるような工夫を期待したい。</p>
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p>リーダー育成研修会である自己開発セミナーに管理者とフロア長が順次参加している。また、パート職員にも外部研修参加の機会を与えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。</p> <p>月1回のフロア会を利用して研修報告をするようにしている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。</p> <p>他の事業所と、互に見学や研修を行い、交流する機会を持っている。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>アセスメントや入居検討カンファレンスを行い、心身の状況、生活歴、本人や家族の意向などの把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>見学や体験のほか、希望に応じて一緒に昼食を取るなど、柔軟に対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>管理者、フロア長、リーダーなど、複数で面接を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>畑やベランダ菜園で、なす、きゅうり、花などを栽培し、洗濯物たたみを行い、自室に掃除機を置いて掃除をするなど、互いに協働しながら生活できる場面作りを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>利用者の思いを大切に、寄り添うなどして不安を取り除き、安心して暮らせるような支援を心がけている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>法人共通のアセスメントシートを活用し、また、本人や家族からも聞き取り、思いや暮らし方の希望などを把握するように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>本人の言動から気持ちを読み取ったり、家族から情報を得るなどして支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>面会時や電話で家族から意見を聞き、それを反映した介護計画を作成し、確認ももらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>職員と一緒に、月1回のフロア会を兼ねたモニタリングや3か月に1回のカンファレンスを行っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>3か月ごとに見直している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>退院直後に介護計画を立て、その後1か月で見直しをするなど、状態に変化が生じた場合は柔軟に期間設定を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p>近隣診療所の往診を利用し、職員に看護師を配置し、本人や家族の希望に応じて事業所で生活が継続できるように支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>緊急時に病院に同行するなど臨機応変に対応している。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>本人や家族が希望する医療機関に受診できるよう支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>往診ノートで連絡し、受診結果を個別記録に保管するなど、受診結果に関する情報の共有は出来ている。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>看取りの指針を定め、家族に説明し、必要に応じて話し合いも行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>今までに事例はないが、家族等の意向を踏まえ、ケースバイケースで取り組むようにしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。</p> <p>食事の時や日常の介助等で、利用者の誇りやプライバシーを損ねるような対応や言葉掛けは見れなかった。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>個人のプライバシーに関する物は人目につきにくい所に保管するなど、徹底している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>個人情報保護法については、フロア会で話し合い、理解に努めるようにしている。</p>		
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。</p> <p>利用者が買い物に行きたい時はスーパーについて行き、美容院に家族が行けない時は職員が同行するなど、柔軟に対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。</p> <p>ゆっくり食事をする利用者のペースを大切にするなど、柔軟に支援している。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。</p> <p>調理の下ごしらえ、盛り付け、配膳、食器洗いなど、その人の出来る事や好きなことをしてもらい、一緒に食事を楽しんでいる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。</p> <p>介助の必要な人にはさりげなく介助をし、職員は同じ物を一緒にテーブルで食べている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。</p> <p>入浴介助が必要な利用者にも、勤務体制を工夫し、希望に合わせた入浴支援を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。</p> <p>入浴を拒否する利用者には、声掛けを工夫したり、職員を替えて対応している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。</p> <p>電気修理が得意な人、活け花が趣味の人、野菜作りや花の栽培が好きな人など、個々の経験や役割を大切にして、それを発揮できる場面作りを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。</p> <p>金魚や亀の餌やり、家族同伴でのお寺詣り、教会での礼拝など、新しい楽しみや張りのある日々が過ごせるような場面づくりを行っている。</p>		
25	61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。</p> <p>行きつけの美容院へ出かけたたりして、外出支援を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。</p> <p>車椅子利用者が多いが、車椅子やシルバーカーを使用して散歩に出かけている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。</p> <p>各ユニットで工夫して、ダム見学、ひまわり見物など、月1回の季節の花見やドライブを楽しんでいる。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>居室や日中玄関に鍵をかけていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。</p> <p>一日に何度も外出をしたい利用者には、職員が見守りを行い、安全にホームに帰ってこれるよう配慮するなど、一人ひとりの習慣や傾向を把握し対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。</p> <p>散歩の時に、近所の人に挨拶をし、顔馴染みの関係を作るよう心掛けており、声かけをしてもらえる関係ができています。</p>		
27	71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p><input type="checkbox"/>事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。</p> <p>年2回、避難訓練を実施しており、今年6月には消防署参加の訓練も行っているが、地域住民の協力を得た訓練にはなっていない。</p> <p><input type="checkbox"/>避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。</p> <p>非常用食料、備品の準備は検討中であるが、準備されていない。</p>	○	<p>転勤者が多いという地域の特性はあるが、いざという時のためにも、近所の住民の協力を得て避難訓練を行うとともに、非常用食料及び備品の備蓄をすることが望まれる。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>チェック表で把握し、水分が不足しがちな利用者には水分提供回数を多くするなど、配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>栄養士が作った献立に、利用者の好みや季節感を味わえるような内容を加味し、工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>栄養士にチェックしてもらっている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>一般家庭で使用している家具を配置し、馴染みやすく、親しみやすい共用空間になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。</p> <p>大人の雰囲気のある、家庭的な飾りつけになっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>利用者が活かした季節の花を飾り、クリスマスツリーやポインセチアの鉢植えも置いて、季節感等に配慮している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>飼っていたペットの写真を飾ったり、今まで使っていた家具を配置したり、本の好きな人は本を置くなど、利用者が今この様に生活しているかが判る居室づくりをしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>職員の工夫で小物など利用して居室作りに取り組んでいる。</p>		